

1 学校教育目標	
教育目標…… 1 広い教養と専門的な知識技術を身に付け、望ましい勤労観・職業観を養う。 2 感謝の気持ちを持ち、地域や社会に貢献する心と態度を養う。 3 自ら思考し、判断し、責任ある行動のとれる主体的能力、態度を養う。 4 強い使命感と倫理観を持ち、創造性豊かで挑戦し続ける産業人の育成を図る。 育てたい生徒像…… 社会人として自発的・自律的に行動できる。 1 基礎学力を含めた広い教養と専門的な知識技術を身に付けている。 2 基本的な生活習慣及び規範意識や倫理観を身に付けている。 3 協調性、忍耐力やコミュニケーション能力を身に付けている。 4 主体的に学び続ける姿勢を身に付けている。	 <p>校訓 勤労愛好 報恩感謝 自発自律 ひとづくり&ものづくり 100年へ向けて</p>

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
○基礎学力テストについては、内容と指導方法を詳細に検討し、就職試験に対応させる。 ○授業アンケートについては、生徒のニーズを把握し、学習意欲が向上する授業となるよう、授業の工夫・改善に取り組む。 ○Webページについては、コンテンツの掲載方法を工夫し、より新鮮な情報を早く提供できるように改善を進める。 ○通学路の危険箇所の確認や交通ルールを守る規範意識の向上を図るとともに、自転車乗車中のルール順守とマナーの指導等を通して、交通事故対策に努める。 ○生徒の規範意識をさらに高めるよう、全教員が共通理解のもと、引き続き粘り強く取り組む。 ○いじめ防止については「山口県立小野田工業高等学校いじめ防止基本方針」に基づいて、引き続き全教員が未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。 ○生徒の健康意識は高まりつつあるが、さらに高い目標を設定し、自己管理能力を向上させたい。特に歯科治療への取り組み意識が低いので、健康上と仕事をする上での歯の健康の重要性を理解させる努力をするとともに治療率の向上を目指す。 ○PTAや地域との連携を推進し、生徒の進路意識・学習意識の向上により、一次募集での合格につながるよう、きめ細かに個別指導を徹底する。指導内容を充実させ、今年度も進路決定率100%を目指す。 ○資格試験については、学科間の連携を取り、ジュニアマイスターポイント1800点以上を目指す。指導については、担当者と担任が連携を取りながら、補習等を行い合格率の向上を目指す。 ○体験入学については、本校への志願者を増やすために、体験入学の充実や出前授業、外部と連携した学校のPR活動に積極的に取り組む。 ○引き続き、委員会や職員会議、校務分掌活動の円滑な運営や業務時間の適正化に取り組む。

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題及びチャレンジ目標	
1 凡事徹底 2 規律ある安心・安全な学校づくりと組織的な危機管理 3 新たな百年の礎づくりに向けた行動	
(1)【学習指導】 ・基礎学力及びものづくり人材に必要な学力や技術の定着 ・互見授業、研究授業、授業評価を活用した授業研究と授業改善 ・主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業実践 (2)【生徒指導等】 ・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上 ・命の大切さや人権を尊重する心や態度の育成 ・交通法規の遵守とマナーの向上 ・部活動や特別活動の活性化 (3)【校務分掌・その他】 ・業務の見直し・効率化と勤務体制の改善 ・情報共有と緊密な連携による組織的対応の習慣化 ・コミュニティスクールの活用と円滑な運営 ・地域、企業、異校種などとの積極的な連携及び情報発信	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本年度のチャレンジ目標</p> <p>①ジュニアマイスター全校生徒の獲得得点 1800点以上</p> <p>②1年間皆勤 全生徒の60%以上</p> </div>

4 自己評価				5 学校運営協議会委員評価		
重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	実践目標の達成状況の診断・分析	学校運営協議会委員からの意見・要望等	
教務	基礎学力の定着向上及び学習意欲の育成と学校・家庭・地域との連携強化	・「基礎学力テスト(漢字・数学・英単語)」の計画的な実施と内容の充実及び基礎学力の定着を図る。 ・授業評価アンケートの内容を精選し、年1回の実施とその結果から生徒の実態を把握し、生徒に即した授業を行うとともに、授業改善に繋げる。 ・授業等で学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動の推進につなげる。	4: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が50%以上であった。(欠席者は除く) 3: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が40%以上50%未満であった。(欠席者は除く) 2: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が30%以上40%未満であった。(欠席者は除く) 1: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が30%未満であった。(欠席者は除く)	4 4 2 4	予定通り3回実施し、全体の受験者数が298名に対し、総合平均が80点以上の者が154人と51.7%の生徒が評価基準を上回った。 各3回のテスト合計点が学年の上位10位以内の生徒が10人以上を超える学年・科目もあり、基礎学力の指導に一定以上の成果を見て取ることができる。 今年度より、昨年度のアンケート内容を見直し、項目の精選を行った。 普通科目や工業科目のどちらにおいてもアンケートの結果から90%以上の生徒が主体的に授業に取り組んでいる様子が分かる。また、教員の授業展開や教材活用に関するアンケート項目に対しても、90%以上の生徒が概ね良い評価を選んでいる。 今年度は、普通科目は文系・理系・実技、工業科目は座学・実習と分けて分析を行ったが、大きな差異は見られず、本校の生徒はどの科目に対しても意欲的に取り組んでいる。 ただし、工業科目においてはやはり実習に対して座学がやや評価が下がるため、座学にも視覚的な教材の活用や実験を行うなどの工夫が必要である。 図書館は、普通教室に比べて、ICT教材やグループ活動を行いやすい場所であるが、電子黒板導入を境に需要が大きく減った。ただし、積極的に活用したことや図書購入などの影響により、利用者数は昨年度よりも増加している。今後は、専門教科の学習での活用を呼びかけ、利用増加につなげていきたい。 図書館および図書委員会では毎年行っている山陽小野田市立中央図書館での展示や文化祭の参加を通じて図書館のアピールや読書活動の推進に取り組んでおり、3学期には10分間の朝読書を来年度からの実施に向けて2日間試験実施した。今後もこれらの活動を見直ししながら進め、図書館運営を行っていきたい。	・授業評価アンケートが年1回ではなく、もっと増やしたほうが良い。授業改善のために実施してほしい。 ・朝読書は静かな雰囲気の中で学校を始められることから良い取り組みであるので続けて行うほうが良い。
		・Webページによる積極的な情報発信を推進し、多くの人に本校の情報を提供する。	4: 昨年度より、閲覧件数が10%以上増加した。 3: 昨年度より、閲覧件数が5%以上増加した。 2: 昨年度と同程度の閲覧件数にとどまった。 1: 昨年度より、閲覧件数が減少した。	4	直近20日間の閲覧件数が約11%増加している。昨年度に比べ年度前半は記事更新が減少したが、年度後半に入り学校行事などの記事更新があったことにより、関心が集まったように見える。 記事については積極的に発出している分掌とそうでない分掌があるため、閲覧者のニーズを考慮しながら記事更新への働きかけを行ってほしい。	

生徒	<p>・交通安全指導や交通安全講習、立哨指導などを行い、交通安全や命の大切さについての意識の向上を図り、交通事故をなくす。</p> <p>・頭髪服装検査をおして規範意識の醸成を図り、礼儀やマナーの指導を行う。</p> <p>・生徒に対し、アンケート調査を実施し、いじめの根絶を図る。</p> <p>・健康診断の事後指導を通して、健康に対する意識と自己管理能力の向上を図る。特に、歯科の治療率の向上を図る。</p>	<p>4: 年間を通して事故件数が7未満件であった。(全校生徒の2%)</p> <p>3: 年間を通して事故件数が10件以内であった。(全校生徒の3%)</p> <p>2: 年間を通して事故件数が14件以内であった。(全校生徒の4%)</p> <p>1: 年間を通して事故件数が20件以上であった。(全校生徒の6%)</p> <p>4: 初回の頭髪服装検査の合格率が90%以上だった。</p> <p>3: 初回の頭髪服装検査の合格率が80%以上だった。</p> <p>2: 初回の頭髪服装検査の合格率が70%以上だった。</p> <p>1: 初回の頭髪服装検査の合格率が70%以下だった。</p> <p>4: 年3回の実施ができ、いじめの再発防止に結び付いた。</p> <p>3: 年3回の実施ができ、いじめ対策(指導)に結び付いた。</p> <p>2: 年3回の実施をしたが、いじめ対策(指導)に結び付かなかった。</p> <p>1: 年2回以内の実施に止まった。</p> <p>4: 事後指導を実施し治療率が40%を超えた。</p> <p>3: 事後指導を実施し治療率が30%~40%未満だった。</p> <p>2: 事後指導を実施し治療率が10%~20%未満だった。</p> <p>1: 事後指導を実施したが治療率が10%以下だった。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>2</p>	<p>今年度は、交通事故の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>	<p>・交通安全事件は素晴らしい。引き続き、指導をお願いする。</p> <p>・いじめアンケートの回数が増やした方がよいのではないかと。</p> <p>・コロナウイルス感染症の影響により健康診断の実施が遅れ、治療率が下がったことは仕方ない。来年度に期待する。</p> <p>・今年度のPTA活動の実施が困難であったことは仕方ない。</p> <p>・来年度は、PTA活動は中止にするのではなく、今だからこそできる教育活動の実施を目指してほしい。</p> <p>・来年度は出前授業や学習ボランティアを実施してほしい。</p> <p>・部活動方針の周知徹底が必要である。</p> <p>・目標達成は難しいが、30%削減のためにこはとを減らせるか、さらに検討してほしい。</p> <p>・夏休みの中学校補習に高校生がボランティアで参加してほしい。</p> <p>・多くの学校で中止になったなか、インターンシップが実施できたことは素晴らしい。</p>
進路指導	<p>・進路希望調査や個人面談等の充実により、学校全体で生徒の進路希望を支援し、その実現を図る。</p> <p>・生徒の進路希望に資する企業訪問の実施と就職サポーターとの綿密な情報交換を推進することで、学校のニーズに即した求人数の確保と求人内容の充実をめざす。</p> <p>・年間を通じて充実したPTA活動を推進するため、保護者の協力を積極的に働きかけることにより、総会を始めとする各種行事への参加者を増加させる。</p> <p>・各科において資格取得に向けて積極的に働き掛け、ジュニアマイスタポイント1800点を目指す。(令和元年度実績1754点)</p>	<p>4: 生徒の95%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>3: 生徒の90%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>2: 生徒の85%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>1: 生徒の85%未満しか希望通りの進路を決定できなかった。</p> <p>4: 280人以上の求人を確保することができた。</p> <p>3: 230人以上の求人を確保することができた。</p> <p>2: 180人以上の求人を確保することができた。</p> <p>1: 180人分未満の求人しか確保することができなかった。</p> <p>4: PTA関連行事への参加者がのべ200人以上であった。</p> <p>3: PTA関連行事への参加者がのべ170人以上であった。</p> <p>2: PTA関連行事への参加者がのべ150人以上であった。</p> <p>1: PTA関連行事への参加者がのべ130人未満であった。</p> <p>4: ジュニアマイスタポイント1800点を達成した。</p> <p>3: ジュニアマイスタポイント1600点以上であった。</p> <p>2: ジュニアマイスタポイント1400点以上であった。</p> <p>1: ジュニアマイスタポイント1400点未満であった。</p> <p>4: 7回以上の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>3: 6回の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>2: 5回の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>1: 本校をPRした行事への出場が、4回以下であった。</p> <p>4: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築と活用を推進することができた。</p> <p>3: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築はできているが活用が不十分だった。</p> <p>2: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築、活用ともに不十分だった。</p> <p>1: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築も活用もできなかった。</p> <p>4: 議題の精選、情報の共有等が改善され、会議の効率化が行われた。</p> <p>3: 議題の精選、情報の共有等がある程度改善され、会議の効率化に効果が見られた。</p> <p>2: 議題の精選、情報の共有等が不十分で、会議の効率化にあまり効果が現れなかった。</p> <p>1: 議題の精選、情報の共有等がほとんどできず会議の効率化に全く効果がなかった。</p> <p>4: 時間外業務時間は、30%程度削減された。</p> <p>3: 時間外業務時間は、20%程度削減された。</p> <p>2: 時間外業務時間は、10%程度削減された。</p> <p>1: 時間外業務時間は、削減されなかった。</p> <p>4: 5回以上の行事に参加した。</p> <p>3: 4回の行事に参加した。</p> <p>2: 3回の行事に参加した。</p> <p>1: 2回以下の行事に参加した。</p> <p>4: 地域と連携した行事に5回以上参加した。</p> <p>3: 地域と連携した行事に4回参加した。</p> <p>2: 地域と連携した行事に3回参加した。</p> <p>1: 地域と連携した行事に2回以下参加した。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>2</p>	<p>今年度は、交通安全の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>	
工業	<p>近隣の中学校や地域活動の周知</p> <p>学校の組織等</p> <p>校務のICT化の推進</p>	<p>4: 7回以上の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>3: 6回の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>2: 5回の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>1: 本校をPRした行事への出場が、4回以下であった。</p> <p>4: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築と活用を推進することができた。</p> <p>3: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築はできているが活用が不十分だった。</p> <p>2: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築、活用ともに不十分だった。</p> <p>1: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築も活用もできなかった。</p> <p>4: 議題の精選、情報の共有等が改善され、会議の効率化が行われた。</p> <p>3: 議題の精選、情報の共有等がある程度改善され、会議の効率化に効果が見られた。</p> <p>2: 議題の精選、情報の共有等が不十分で、会議の効率化にあまり効果が現れなかった。</p> <p>1: 議題の精選、情報の共有等がほとんどできず会議の効率化に全く効果がなかった。</p> <p>4: 時間外業務時間は、30%程度削減された。</p> <p>3: 時間外業務時間は、20%程度削減された。</p> <p>2: 時間外業務時間は、10%程度削減された。</p> <p>1: 時間外業務時間は、削減されなかった。</p> <p>4: 5回以上の行事に参加した。</p> <p>3: 4回の行事に参加した。</p> <p>2: 3回の行事に参加した。</p> <p>1: 2回以下の行事に参加した。</p> <p>4: 地域と連携した行事に5回以上参加した。</p> <p>3: 地域と連携した行事に4回参加した。</p> <p>2: 地域と連携した行事に3回参加した。</p> <p>1: 地域と連携した行事に2回以下参加した。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>今年度は、交通安全の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>	
業務改善	<p>日常的な業務</p> <p>各種会議、委員会の効率化</p> <p>勤務状況</p> <p>勤務の適正な管理</p>	<p>4: 議題の精選、情報の共有等が改善され、会議の効率化が行われた。</p> <p>3: 議題の精選、情報の共有等がある程度改善され、会議の効率化に効果が見られた。</p> <p>2: 議題の精選、情報の共有等が不十分で、会議の効率化にあまり効果が現れなかった。</p> <p>1: 議題の精選、情報の共有等がほとんどできず会議の効率化に全く効果がなかった。</p> <p>4: 時間外業務時間は、30%程度削減された。</p> <p>3: 時間外業務時間は、20%程度削減された。</p> <p>2: 時間外業務時間は、10%程度削減された。</p> <p>1: 時間外業務時間は、削減されなかった。</p> <p>4: 5回以上の行事に参加した。</p> <p>3: 4回の行事に参加した。</p> <p>2: 3回の行事に参加した。</p> <p>1: 2回以下の行事に参加した。</p> <p>4: 地域と連携した行事に5回以上参加した。</p> <p>3: 地域と連携した行事に4回参加した。</p> <p>2: 地域と連携した行事に3回参加した。</p> <p>1: 地域と連携した行事に2回以下参加した。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>今年度は、交通安全の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>	
地域連携	<p>近隣の中学校や地域活動の周知</p> <p>学校の組織等</p> <p>校務のICT化の推進</p>	<p>4: 5回以上の行事に参加した。</p> <p>3: 4回の行事に参加した。</p> <p>2: 3回の行事に参加した。</p> <p>1: 2回以下の行事に参加した。</p> <p>4: 地域と連携した行事に5回以上参加した。</p> <p>3: 地域と連携した行事に4回参加した。</p> <p>2: 地域と連携した行事に3回参加した。</p> <p>1: 地域と連携した行事に2回以下参加した。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>今年度は、交通安全の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>	
6 学校評価総括(取組の成果と課題)	<p>【教務】夏季休業の縮減により、2学期は例年より早く、テストの実施時期とその前後での指導について検討を行う。授業への取り組みについては、ICTを積極的に取り入れ、校内研修や研究授業を通じて教員間の交流を活発にする。また、コロナウイルス感染症対策を行いながら、授業、行事を行う。図書については、外部との交流・連携を引き続き行う。</p> <p>【生徒】引き続き、自転車マナー指導等を通して交通安全の向上に努め、交通事故0を目指す。生徒会との連携を含め、教育相談アンケート等を通して生徒理解に努め、いじめや問題行動の防止、規範意識の向上に粘り強く取り組む。歯科治療率については、保護者との連携により、生徒の治療に対する意識が高まり、実践できるような取組を。</p> <p>【進路指導】PTAや地域との連携を推進し、生徒の進路意識の向上を図るとともに、きめ細かな個別指導により、県内外の就職先確保に努める。進学指導を徹底する。また、コロナウイルス感染症対策を行い、インターンシップや工場見学などの体験学習を推進する。企業訪問等により、県内外の就職先確保に努める。進学指導を充実させ、山口東京理科大学等への進学を推進する。</p> <p>【業務改善】情報の共有化は、校内ポータルサイトの活用が定着した。会議の効率化は、昨年度よりさらに進められた。緊急事態宣言での休校措置の影響もあり、減少しているものも、さらなる業務の見直しが必要である。</p> <p>【工業】生徒数減と資格試験が中止になったものも多く、結果的にジュニアマイスターポイントが減少した。地域連携では、多くの行事が中止となり実施することができなかった。</p> <p>7 次年度への改善策</p>	<p>4</p>	<p>今年度は、交通安全の報告は1件も上がっていない。今後も、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p> <p>日頃から意識する生徒が多くなり、以前よりきちんとできる生徒が増えきたが、数名指導を受ける生徒がいる。今後も、繰り返し指導をし、日頃から意識せずに身だしなみを整えられる生徒を育成していく。</p> <p>いじり、からかい等も早めに察知することができ、大きな問題にならないように対応できた</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、歯科検診を11月に実施、12月に治療期間短縮を行った。そのため、指導を十分行えず、また治療期間も短かったため、15.3%の治療率となった。次年度は個別指導を充実させたい。</p> <p>2年次より、企業説明会及び進路指導部による面談や個人指導を行い、進路希望調査をもとに受験先を決定した。8月以降、筆記試験対策の補習やPTA・就職サポーター・教員による面接練習など受験指導を繰り返し行った結果、一次募集試験の合格率は97%(昨年度96%)だった。進学を含め1回目の受験で不合格だった者は、二次募集試験や専門学校等の試験にチャレンジし、12月16日に全員進路決定をした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により電話でのやり取りを中心に6月より企業面談を開始した。校長をはじめ、教頭・各工学科長・3学年担任・進路指導部及び就職サポーターが県内外のべ200社以上と面談し、卒業生の定着指導と求人依頼を行った。</p> <p>結果的に599名分(前年比22.2%減)の求人を確保することができた。昨年度より減少したが、いまだに多く応募された状況であった。景気の変化に備えて、来年度以降も引き続き企業へ働き掛けを行いたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりPTA行事の多くが中止になった。3年生対象のPTA面接練習会は実施できた。来年度は感染に注意しながらPTA関連行事の充実を図り、PTA活動を盛り上げたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で前期の技能検定が全て中止になったことや、危険物も例年と実施時期が変わったことで、資格、検定試験の受験の機会が減ったが、各科目も、科の特色に応じた資格の指導を行い、2月終わりまでに1600点程度の獲得が見込まれる。今後も生徒の資格取得の支援をしていきたい。</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響でかかぐ博覧会中止や出前授業も実施できなかった。しかし、体験入学生は感染症対策を行ったうえで夏休み二実施し、例年並みの中学生が参加した。校外に出て活動を行うことが難しくしたが、来年度は、地域の状況にあわせて近隣の方へ本校のPRを行いたい。</p> <p>GIGAスクール構想および新型コロナウイルス感染症対策により、ICT化が進んだ。新しい機器も導入されたが、有効な活用についてはこれからである。研修会を実施するなど教員間で情報を共有する必要がある。</p> <p>議題の精選や日常の情報交換により、各種会議を予定期間内に終えることができた。</p> <p>今後、配布資料等を検討し、ICT化を進め、ペーパーレス化を目指し、印刷時間等の削減により業務のスリム化が必要と思われる。</p> <p>12月末現在、平成28年度平均と比較すると、時間外業務時間は20.5%の削減にとどまった。昨年より減少しているが、全職員の時間外勤務が減少するよう業務の適正化をさらに進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による地域の各種行事の中止の影響により、昨年参加していた全ての行事に参加できなかった。</p> <p>一方新たに、小野田小学校(6年生2クラス)への出前授業を行った。</p> <p>地域企業の御協力によりインターンシップ(2年生)、工場見学(1・2年生)を行い、地域産業を学ぶ学習を行うことができた。</p> <p>また、地域の大学と連携し、高度な知識に触れる取組も進めたい。</p>		